

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校神田外語学院
設置者名	学校法人佐野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
昼間部 専門課程	インターナショナルコミュニケーション科（2年制） （英語専攻コース）	夜・通信	300 単位時間	$80 \times 2 = 160$ 単位時間	
	インターナショナルコミュニケーション科（2年制） （国内大学編入コース）	夜・通信	360 単位時間	$80 \times 2 = 160$ 単位時間	
	インターナショナルコミュニケーション科（2年制） （韓国語コース）	夜・通信	300 単位時間	$80 \times 2 = 160$ 単位時間	
	インターナショナルコミュニケーション科（2年制） （中国語コース）	夜・通信	300 単位時間	$80 \times 2 = 160$ 単位時間	
	インターナショナルコミュニケーション科（2年制） （スペイン語コース）	夜・通信	600 単位時間	$80 \times 2 = 160$ 単位時間	
	インターナショナルコミュニケーション科（2年制） （フランス語コース）	夜・通信	420 単位時間	$80 \times 2 = 160$ 単位時間	
	グローバルゲートウェイ科（2年制） （海外大学留学コース）	夜・通信	0 単位時間	$80 \times 2 = 160$ 単位時間	※
	グローバルゲートウェイ科（2年制） （グローバルビジネスコー	夜・通信	930 単位時間	$80 \times 2 = 160$ 単位時間	

	ス)				
	ビジネスコミュニケーション科（2年制） （ビジネスデザインコース）	夜・通信	1,185 単位時間	80×2=160 単位時間	
	ビジネスコミュニケーション科（2年制） （デジタル情報コース）	夜・通信	1,215 単位時間	80×2=160 単位時間	
	ビジネスコミュニケーション科（2年制） （エアラインコース）	夜・通信	1,155 単位時間	80×2=160 単位時間	
	ビジネスコミュニケーション科（2年制） （トラベルコース）	夜・通信	1,185 単位時間	80×2=160 単位時間	
	ビジネスコミュニケーション科（2年制） （ホテルコース）	夜・通信	1,155 単位時間	80×2=160 単位時間	
	英語基礎養成科 （1年制）	夜・通信	0 単位時間	80×1 単位時間	※
	海外大学留学科 （1年制）	夜・通信	0 単位時間	80×1 単位時間	
	グローバルコミュニケーション科（2年制）（アントレプレナーシップコース）	夜・通信	1,200 単位時間	80×2=160 単位時間	
	英語専攻科 （2年制）	夜・通信	832 単位時間	80×2=160 単位時間	
	留学科 （2年制）	夜・通信	0 単位時間	80×2=160 単位時間	※
	アジア／ヨーロッパ言語科 （2年制）（スペイン語・フランス語・中国語・韓国語コース）	夜・通信	1,040 単位時間	80×2=160 単位時間	
	アジア／ヨーロッパ言語科 （2年制）（インドネシア語・タイ語コース）	夜・通信	256 単位時間	80×2=160 単位時間	
	こども英語教師養成科 （2年制）	夜・通信	800 単位時間	80×2=160 単位時間	
	デジタルコミュニケーション科（2年制）	夜・通信	480 単位時間	80×2=160 単位時間	
	国際ビジネスキャリア科 （2年制）	夜・	784 単位時間	80×2=160	

		通信		単位時間	
	国際観光科 (2 年制)	夜 ・ 通信	1,104 単位時間	80 × 2 = 160 単位時間	
	国際ホテル科 (2 年制)	夜 ・ 通信	912 単位時間	80 × 2 = 160 単位時間	
	国際エアライン科 (2 年制)	夜 ・ 通信	816 単位時間	80 × 2 = 160 単位時間	
(備考) インターナショナルコミュニケーション科、グローバルゲートウェイ科、ビジネスコミュニケーション科、海外大学留学科については、令和 7 年度に新設。英語専攻科、留学科、アジア／ヨーロッパ言語科、こども英語教師養成科、デジタルコミュニケーション科、国際ビジネスキャリア科、国際観光科、国際ホテル科、国際エアライン科は令和 7 年度より募集停止。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名	グローバルゲートウェイ科 海外大学留学コース
(困難である理由) 当学科は海外 4 年制または 2 年制大学への編入を目的とした学科です。本学で編入先大学の一般教養課程科目を学びこれを単位互換するため、設置科目の担当教員には、教員としての勤務経験はあるものの、必ずしも他の実務経験を有しているものではありません。	

学科名	海外大学留学科
(困難である理由) 当学科は海外 4 年制または 2 年制大学の 2 年次への編入を目的とした学科です。本学で編入先大学の一般教養課程科目を学びこれを単位互換するため、設置科目の担当教員には、教員としての勤務経験はあるものの、必ずしも他の実務経験を有しているものではありません。	

学科名	留学科
(困難である理由) 当学科は海外 4 年制または 2 年制大学への編入を目的とした学科です。本学で編入先大学の一般教養課程科目を学びこれを単位互換するため、設置科目の担当教員には、教員としての勤務経験はあるものの、必ずしも他の実務経験を有しているものではありません。	

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校神田外語学院
設置者名	学校法人佐野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

以下の web サイトにおいて、学校概要の一項目として公表。
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/about/announcement/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 代表取締役	令和6年度 決算に関する 定時評議員会 終結の時から 令和10年度決 算に関する定 時評議員会終 結の時まで	グローバル化推進
非常勤	株式会社 代表取締役	令和6年度 決算に関する 定時評議員会 終結の時から 令和10年度決 算に関する定 時評議員会	卒業生組織活性化

		終結の時 まで	
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校神田外語学院
設置者名	学校法人佐野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 各授業科目についてシラバスを作成している。各シラバスには、科目のねらい・科目内容・成績評価方法・使用テキスト・単位数・使用言語を記載し、合わせて授業週(授業日)ごとの授業内容(学習目標)を示し、受講する学生と授業計画を共有する。 各シラバスは、教務システムの中で、学生が随時閲覧できるようになっており、またダウンロードすることも可能(学生用アカウントにてログインが必要)。一般公開用としては、書面出力したシラバスをファイリングし、閲覧の用に供している(閲覧申込窓口:教務部)。 シラバスは、学科担当者が学内会議において指導方針の承認周知を経たのち、各担当教員が学科担当者との調整の上作成している。 シラバスは前年度末までに学生に公表している。	
授業計画書の公表方法	書面出力したシラバスをファイリングし、閲覧の用に供している(閲覧申込窓口:教務部)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各授業科目についてシラバスを作成している。各シラバスには、科目のねらい・科目内容・成績評価方法・使用テキスト・単位数・使用言語を記載し、合わせて授業週（授業日）ごとの授業内容（学習目標）を示し、受講する学生と授業計画を共有する。 各シラバスは、教務システムの中で、学生が随時閲覧できるようになっており、またダウンロードすることも可能（学生用アカウントにてログインが必要）。一般公開用としては、書面出力したシラバスをファイリングし、閲覧の用に供している（閲覧申込窓口：教務部）。 シラバスは、学科担当者が学内会議において指導方針の承認周知を経たのち、各担当教員が学科担当者との調整の上作成している。 シラバスは前年度末までに学生に公表している。	
3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 前項で示した通り、各授業科目はA・B・C・DおよびF（成績証明書においては秀・優・良・可および不可）で成績評価を行っているが、同時にこれらを数値化する場合のルールを定め、学生用インフォメーションサイトへ掲載、公表している。 その数値化のルールは、$A = 4 \cdot B = 3 \cdot C = 2 \cdot D = 1 \cdot F = 0$であり、これを Grade Point としている。各学生が履修した科目におけるこの合計値を総履修科目数で除した平均値、すなわちG P Aを、本学では、姉妹校内部推薦卒の候補者選定や学業優秀者の表彰候補者選出など、また学生が編入学をする際の成績資料として活用している	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業要件は、各学科において、定められたカリキュラム表に記載するすべての授業科目について合格することとする。また指定の試験を受験していることなどの条件も付加している。このことは、学生便覧である「学生手帳」に記載している他、入学時に掲載ページを示して全学生へ連絡している。以下インフォメーションサイトからの資料を参照されたい。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html>

様式第 2 号の 4 - ② 【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4 - ①を用いること。

学校名	専門学校神田外語学院
設置者名	学校法人佐野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html
収支計算書又は 損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査 報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	インターナショナル コミュニケーション 科（英語専攻コー ス）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	690 単位時間	1,020 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1,040 人の 内数		527 人の 内数	54 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 各科目とも授業は習熟度別に行い、学生の理解度に応じた教材・進捗で進めている。また、クラス毎に毎週、又は、隔週で小テストを行うことで知識の定着を図っている。特に下位レベルの学生に対しては1年次2・3学期に必修の補習を設置し、基礎事項を徹底して身に付けさせている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
－人 (100%)	－人 (%)	－人 (%)	－人 (%)
(主な就職、業界等)－			
(就職指導内容) 専門学校で培った高い英語力と、自身の興味や能力を発揮できる職業選択の指導。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
－人	－人	－%
(中途退学の主な理由)－		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	インターナショナル コミュニケーション 科（国内大学編入コ ース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	780 単位時間	930 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1,040 人の 内数		527 人の 内数	54 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）編入学試験を突破できる英語力と日本語力を確実に習得させるべく、長年に亘り蓄積された各大学の試験データを基にカリキュラムが組まれており、専門科目や小論文対策については、学系別のサポート体制を敷いている。また課外での対策講座についても適宜実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
(主な就職、業界等) -			
(就職指導内容) (本コースは大学編入学を目指コースであるが、就職に進路変更した際は) 専門学校で培った高い英語力と、自身の興味や能力を発揮できる職業選択の指導。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	インターナショナル コミュニケーション 科（韓国語コース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	930 単位時間	780 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1040 人の 内数		527 人の 内数	54 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 毎週指定された曜日・時限に各言語のネイティブ教員が学生の自習施設に常駐し、日々の学習相談や、会話練習、習熟度確認をしている。また、担任教員による進路相談やフィールドトリップ、現地学生との交流の機会を設けることにより異文化理解を深めながら、学習意欲の向上に努めている。ネイティブ教員と日本人職員の双方向から学修の支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
(主な就職、業界等) -			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist、ハングル能力検定試験、韓国語能力検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリング		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		専門課程	インターナショナル コミュニケーション 科（中国語コース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2 年	昼	1,710 単位時間		930 単位時間	780 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
1,040 人の 内数		527 人の 内数	54 人の内数	77 人の内数		87 人の内 数		164 人の 内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）毎週指定された曜日・時限に各言語のネイティブ教員が学生の自習施設に常駐し、日々の学習相談や、会話練習、習熟度確認をしている。また、担任教員による進路相談やフィールドトリップを通じて当該言語への興味や異文化への理解を深めながら、学習意欲の向上に努めている。ネイティブ教員と日本人職員の双方向から学修の支援をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
(主な就職、業界等) -			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			

（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist、中国語検定等
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
（中途退学の主な理由）-		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	インターナショナル コミュニケーション 科（スペイン語コー ス）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	870 単位時間	840 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1,040 人の 内数		527 人の 内数	54 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）毎週指定された曜日・時限に各言語のネイティブ教員が学生の自習施設に常駐し、日々の学習相談や、会話練習、習熟度確認をしている。また、担任教員による進路相談を行い学習意欲の向上に努めている。ネイティブ教員と日本人職員の双方向から学修の支援をしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
(主な就職、業界等) -			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist、スペイン語技能検定、DELE スペイン語検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	インターナショナル コミュニケーション 科（フランス語コー ス）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	870 単位時間	840 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
1,040 人の 内数		527 人の 内数	54 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 毎週指定された曜日・時限に各言語のネイティブ教員が学生の自習施設に常駐し、日々の学習相談や、会話練習、習熟度確認をしている。また、担任教員による進路相談を行い学習意欲の向上に努めている。ネイティブ教員と日本人職員の双方向から学修の支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
(主な就職、業界等) -			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験、TOEFL、Microsoft Office Specialist、フランス語技能検定等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	グローバルゲートウェイ科（海外大学留学コース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,415 単位時間	2,415 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
200 人の内数	50 人の 内数	15 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）本学科では、科目毎のシラバスに基づき、エッセイ、ワークシート、小テスト等を実施している。あわせて学期毎に補講期間を設け、学力の向上をサポートをしている。また、通年での留学オリエンテーションを実施する他、随時、専任教員による相談、面談、進路指導も行い、各自の語学力、GPA などの把握を徹底し、個別指導を通じて、学生の留学の成功に努めている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
（主な就職、業界等） -			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEFL、IELTS、Duolingo 等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施、留学カウンセリング、保護者会実施 (年間で5回程度実施)		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	グローバルゲートウェイ科（グローバルビジネスコース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	990 単位時間	720 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200 人の 内数		50 人の 内数	15 人の内数	77 人の 内数	87 人の 内数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）学習内容の定着化を図るため、毎週確認テストを行い、目標とする TOEIC800 点に必要な英語力を養成している。また、年間を通じて行われる Learning Strategies の授業では、カウンセリングを通じて個々の学習戦略を練る。また同授業内では各業界で活躍している卒業生をゲストスピーカーとして招き、モチベーションの向上とキャリアビジョンの明確化を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
（主な就職、業界等） -			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、国際連合公用語英語検定、Oracle Certified Java Programmer,Silver SE 11			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
（中途退学の主な理由） -		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ビジネスコミュニケーション科（ビジネスデザインコース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	705 単位時間	990 単位時間	15 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
640 人の 内数		198 人の 内数	66 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
(概要) 本学科は、アクティブラーニングを多用しており、適宜授業外でも学生のケアを行い、演習科目を通じたリーダーシップ・フォロワーシップ能力の養成に取り組んでいる。また、担任による定期的な個別面談を通じて、学生の修得状況を確認し、個別の進路相談・指導を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
(主な就職、業界等) -			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、実用英語技能検定、日商ビジネス英語技能検定、IT パスポート、Microsoft Office Specialist、日商簿記検定、秘書技能検定等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%

(中途退学の主な理由) -
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	専門課程	ビジネスコミュニケ	○	

				ーション科（デジタル情報コース）					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1,710 単位時間		645 単位時間	1,050 単位時間	15 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
				単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
640 人の 内数		198 人の 内数	66 人の内数		77 人の内数		87 人の内 数		164 人の 内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）本学科は、アクティブラーニングを多用しており、適宜授業外でも学生のケアを行い、演習科目を通じたリーダーシップ・フォロワーシップ能力の養成に取り組んでいる。また、担任による定期的な個別面談を通じて、学生の修得状況を確認し、個別の進路相談・指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)

(主な就職、業界等) -
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、Microsoft Office Specialist、IT パスポート、Adobe、Davinci Resolve、Salesforce(Tableau)等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ビジネスコミュニケーション科（エアラインコース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	675 単位時間	1,020 単位時間	15 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
640 人の 内数		198 人の 内数	66 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等
（概要）航空・空港関係を中心としたサービス業に必要とされるスキル向上のための授業（エアライン業界研究、イメージコンサルティング、社会人基礎力等）を、演習を織り交ぜた形式で実施している。また、担任、担当教員、キャリア教育センターが三位一体となり、エントリーシートの書き方から面接練習まで徹底的にサポートする体制が整っており、納得のいく進路選択を支援している。また、内定者報告会や航空会社と連携した研修会を開催するなど、モチベーションの維持向上に資する取り組みを講じている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
（主な就職、業界等） -			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、接客心理検定、マナー・プロトコル検定、秘書技能検定、IT パスポート、Microsoft Office Specialist 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
（中途退学の主な理由） -		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		専門課程	ビジネスコミュニケーション科（トラベルコース）		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間		705 単位時間	990 単位時間	15 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
640 人の		198 人の	66 人の内数	77 人の内数	87 人の内	164 人の		

内数	内数			数	内数
----	----	--	--	---	----

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要）試験対策授業では定期的に模擬試験を設定し、進捗状況の確認と知識の定着度合いに合わせた目標設定・助言を与えている。実務授業においては、教員と学科担当者が共同授業をすることで、教員と学生への相互支援を通して、多面的且つ全学生へ行き届いた指導を行っている。また、産学連携プログラム活用した旅行会社での実務体験等を通じ、旅行業界への理解をさらに深め、興味関心を引き出す課題を設定することにより、学習意欲の向上に繋げている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
（主な就職、業界等） -			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検、全国通訳案内士、国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、国内旅程管理主任者、総合旅程管理者主任者、観光英語検定、世界遺産検定、ITパスポート、Microsoft Office Specialist 等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	ビジネスコミュニケーション科（ホテルコース）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1,710 単位時間	735 単位時間	960 単位時間	15 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
640 人の 内数		198 人の 内数	66 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）担任教員による定期的な個人面談を通して、学科の学生全員の学習状況のチェックや進路指導、各種相談を行っている。併せて、学科専門科目担当教員全員で、修得状況の情報を共有し、学習支援の意見交換を行っている。また、ホテルに勤務する卒業生との交流会の実施やホテルインターンシップを通じてホテル業界へのさらなる興味と理解を深め、職業像の明確化を図り学習意欲を高めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (%)	-人 (%)	-人 (%)
（主な就職、業界等） -			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検、ホテルビジネス実務検定、マナー・プロトコル検定、サービス介助基礎研修、秘書技能検定、ビジネス能力検定、IT パスポート、Microsoft Office Specialist 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
（中途退学の主な理由） -		
（中退防止・中退者支援のための取組）入学前事前学習会の実施、クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	英語基礎養成科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	900 単位時間	660 単位時間	240 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		17 人	0 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 本学科は習熟度別にクラス編成をしており、週1回の学習カウンセリングを通じて、修得状況の確認を行い、一人ひとり効果的な学習を計画し、個々の英語基礎力向上に取り組んでいる。また、担当教員による個別面談を通して、進路相談・指導を行い、学科科目担当教員全員と情報共有し学習支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果（資格・検定等）) TOEIC、実用英語技能検定 等。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	2人	25.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、入学前事前学習の実施、ラーニングアドバイザーの設置および		

カウンセリングの実施

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	海外大学留学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	1,380 単位時間	1,380 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		3 人	0 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）本学科は入学後の 1 年間で海外大学 1 年次の単位を取得し、2 年次からの海外提携大学への編入を目指すコースです。定期カウンセリングの他、担任、担当教員、留学センターが三位一体となり、学習計画の作成から留学先の選定・準備までも含めたきめ細かなケア体制が整備されている。また、海外大学留学コース 2 年次への進級、就職といった進路変更希望者に対するサポート体制も充実している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (100%)	-人 (0.0%)	-人 (0.0%)	-人 (0.0%)

(主な就職、業界等) -
(就職指導内容) 専門学校で海外留学に向けて学んだ知識を活用出来る職業選択の指導。
(主な学修成果 (資格・検定等)) TOEFL、IELTS、TOEIC 等。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、入学前事前学習の実施、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	グローバルコミュニケーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,352 単位時間	1,824 単位時間	528 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		10 人	5 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照

学修支援等
（概要）単語テストを毎週実施し、卒業要件である TOEIC800 点に必要な単語力を養成。個々の能力に合わせた英語力の底上げを行っている。また、年間を通して、各界で活躍している卒業生をゲストに招き、学習面や就職活動の相談をする機会を設けている。希望者にはレベルに合わせた自主学習教材を作成しており、苦手分野が克服できるよう支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 人 (100%)	0 人 (0.0%)	2 人 (50.0%)	2 人 (50.0%)
（主な就職、業界等）卸売業・情報通信業界			
（就職指導内容）専門学校で培った高い英語力と、自身の興味や能力を発揮できる職業選択の指導。			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、工業能力検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	3 人	16.7%
（中途退学の主な理由）進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組）クラス担任制により、学生の個別情報、出欠席の把握や問題の早期発見を行い問題解決にあたっている。また学生相談室（臨床心理士）、医務室（正看護師）、及び保護者をも含めた連携体制を布くことにより退学率低減に取り組んでいる。また入学前の入学準備無料補習の実施に加え、ラーニングアドバイザーのカウンセリングによって学習面のサポートを強化し、授業について行けずに退学してしまうケースに対応している。学費支払に支障のあるケースについては学費支援提携ローンを導入した所、利用者も多く学費支払不能者の退学数は年々減少している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	英語専攻科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,080 単位時間	880 単位時間	1,243 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
300 人		271 人	14 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要）各科目とも授業は習熟度別に行い、学生の理解度に応じた教材・進度で進めている。また、クラス毎に毎週、又は、隔週で小テストを行うことで知識の定着を図っている。特に下位レベルの学生に対しては必修の補習を設置し、基礎事項を徹底して身に付けさせている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
177 人 (100%)	92 人 (52.0%)	40 人 (22.6%)	45 人 (25.4%)
（主な就職、業界等）小売業界・運輸物流業界・航空空港業界			
（就職指導内容））専門学校で培った高い英語力と、自身の興味や能力を発揮できる職業選択の指導。			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

507 人	60 人	11.8%
（中途退学の主な理由）進路変更、学業不振、体調不良、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組）クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザーによるカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専攻科	留学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,448 単位時間	2,448 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		32 人	3 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）本学科では、科目毎のシラバスに基づき、エッセイ、ワークシート、小テスト等を実施している。あわせて学期毎に補講期間を設け、学力の向上を補佐している。また、通年のオリエンテーション授業の他、随時、専任教員による相談、面談、進路指導も行い、各自の語学力、GPA などの把握を徹底し、個別指導を通じて、学生の留学の成功に努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	1 人 (6.3%)	3 人 (18.7%)	12 人 (75.0%)

(主な就職、業界等) 小売業界
(就職指導内容) 専門学校で海外留学に向けて学んだ知識を活用出来る職業選択の指導。
(主な学修成果 (資格・検定等)) TOEFL、iBT、TOEFL ITP、IELTS、TOEIC 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
61 人	12 人	19.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、留学センターによる留学カウンセリング、保護者会実施 (1.2 年で年 10 回)、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	アジア/ヨーロッパ言語科 (フランス語、スペイン語、 中国語、韓国語)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,080 単位時間	880 単位時間	1,200 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200 人の内数		125 人の 内数	3 人の内数	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 毎週指定された曜日・時限に各言語のネイティブ教員が学生の自習施設に常駐し、日々の学習相談や、会話練習、習熟度確認をしている。また、担任教員による進路相談を行い、学習意欲の向上に努めている。ネイティブ教員と日本人職員の双方向から学修の支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
124 人の内数 (100%)	35 人の内数 (28.2%)	48 人の内数 (38.7%)	41 人の内数 (33.1%)
(主な就職、業界等) 小売業界・運輸物流業界・航空空港業界			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用フランス語技能検定、スペイン語検定、中国語検定、ハングル能力検定、漢語水平試験(HSK)、韓国語能力検定(TOPIK)等。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
297 人の内数	48 人の内数	16.2%の内数
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、入学前事前学習の実施、指導教員オフィスアワーを利用した個別対応指導、ラーニングアドバイザー・TEOIC アドバイザーの設置およびカウンセリングの実施。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養		専門課程	アジア/ヨーロッパ言語科 (インドネシア語、ベトナム語、タイ語)	○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習

2 年	昼	2,208		880	1,328	単位時間	単位時間	単位時間
		単位時間		単位時間	単位時間	/単位	/単位	/単位
		単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
200 人の内数		125 人の 内数	3 人の内数	77 人の内数		87 人の内 数		164 人の 内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要）授業内では体系的な講義を行い、必修科目である現地留学にスムーズに参加出来るレベルチェックを行っている。また授業外においても、週一回の担任とのホームルームを通じて、現地生活に必要な安全・危機管理対策や指導、帰国後のための進路相談、学内にある自習施設ではネイティブ講師を活かした質問を受付ける機会を設け、学生が落ちこぼれることのないよう常に対策を講じている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
124 人の内数 (100%)	35 人の内数 (28.2%)	48 人の内数 (38.7%)	41 人の内数 (33.1%)
(主な就職、業界等) 小売業界			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、インドネシア語技能検定、実用タイ語検定等。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
297 人の内数	48 人の内数	16.2%の内数
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、入学前事前学習の実施、指導教員オフィスアワーを利用した個別対応指導、ラーニングアドバイザー設置およびカウンセリングの実施。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	こども英語教師養成 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,080 単位時間	1,040 単位時間	976 単位時間	64 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		8 人	0 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）グループワークやプレゼンテーションなど実践を交えて授業を行い、教育実習に向けて、授業内および放課後などに演習指導を実施している。小学校へのインターンシップや海外児童施設でのボランティア研修を実施し、意欲ある学生の積極的な学習支援をしている。また担当教員による面談を通じて、修得状況の確認や進路指導を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

9 人 (100%)	2 人 (22.2%)	3 人 (33.3%)	4 人 (44.5%)
(主な就職、業界等) 教育業界			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、J-SHINE、実用英語技能検定、ビジネス能力検定、コンピュータサービス技能評価試験等。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	2 人	10.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザー設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	デジタルコミュニケーション科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,176 単位時間	1,168 単位時間	1,008 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		19 人	1 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準

(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 本学科はグローバルに活躍できるIT人材を育成することを目的に令和5年度より設立された学科であります。そのため、ITに関する基礎的な知識が備わっていることを証明する国家資格であるITパスポートの合格を必達目標とするほか、技術系の実用的な英語力の習得を目指すべく技術英語能力検定の受験を必須としており、それぞれ充実した試験対策の授業構成となっている。また、入学直後にキャリア合宿を実施するほか、「キャリア開発」の授業を2年間通して行うことにより、自分の将来を主体的に設計し、より良いキャリアを生涯にわたり構築していくための土台作りのサポートを専門教員が一貫して行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	6人 (33.3%)	7人 (38.9%)	5人 (27.8%)
(主な就職、業界等) 情報通信・小売業界			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学、ITの知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、ITパスポート、技術英語検定、MOS、Web解析士等。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	5人	11.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、ラーニングアドバイザー設置およびカウンセリングの実施		

--

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
文化・教養		専門課程	国際ビジネスキャリア ア科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2 年	昼	2,080 単位時間		1,088 単位時間	992 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80 人	32 人	10 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数			

カリキュラム（授業方法及び内容、年度の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要））本学科は、アクティブラーニングを多用しており、適宜授業外でも学生のケアを行い、演習科目を通じたリーダーシップ・フォロワーシップ能力の養成に取り組んでいる。また、担任による定期的な個別面談を通じて、学生の修得状況を確認し、個別の進路相談・指導を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 (100%)	7 人 (33.3%)	12 人 (57.2%)	2 人 (9.5%)
（主な就職、業界等）製造業界・小売業界・運輸物流業界・金融業界			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
（主な学修成果（資格・検定等））TOEIC、実用英語技能検定、日商簿記検定試験、日商ビジネス英語検定、秘書技能検定、ビジネス能力検定 等。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	13 人	19.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、入学前事前学習の実施、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	国際観光科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,080 単位時間	816 単位時間	1,104 単位時間	160 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		8 人	4 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）試験対策授業では定期的に模擬試験を設定し、進捗状況の確認と個人の成長に合わせた目標設定・助言を与えている。実務授業においては、教員と学科担当者が共同授業をすることで、教員と学生への相互支援を通して、多面的且つ全学生へ行き届いた指導を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 (100%)	2 人 (28.6%)	5 人 (71.4%)	0 人 (0.0 %)

(主な就職、業界等) 旅行業界
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語技能検定、世界遺産検定、総合旅行業務取扱管理者試験(実務)、総合旅行業務取扱管理者試験(国家資格) 等。
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	3 人	16.7%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、入学前事前学習の実施、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	国際ホテル科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,080 単位時間	752 単位時間	1,232 単位時間	96 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		22 人	1 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 担任教員による定期的な個人面談を通して、学科の学生全員の修得状況のチェックや進路指導、各種相談を行っている。また、学外教育活動プログラムを設定し、意欲ある学生の積極的な学習を支援している。さらに、学科専門科目担当教員全員で、修得状況の情報を共有し、学習支援の意見交換を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	2人 (10.5%)	15人 (79.0%)	2人 (10.5%)
(主な就職、業界等) ホテル業界			
(就職指導内容) 専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語技能検定、ホテルビジネス実務検定試験、ビジネス能力検定 等。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
49人	8人	16.3%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、入学前事前学習の実施、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		専門課程	国際エアライン科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	

2 年	昼	2,080 単位時間		1,152 単位時間	928 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
120 人	47 人	4 人	77 人の内数	87 人の内 数	164 人の 内数			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照
学修支援等
（概要）サービス業に必要とされるスキル向上のための講義（エアライン業界知識、接遇心理、一般教養、メンタルトレーニング等）を、演習を織り交ぜた形式で実施している。また、2 年間を通じ、定期的な担任とのレポートカウンセリングや面談を行うことにより、納得のいく進路選択を支援している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
43 人 (100%)	5 人 (11.6%)	33 人 (76.8%)	5 人 (11.6%)
（主な就職、業界等）航空空港業界			
（就職指導内容）専門学校で学んだ語学の知識を活用し、自身の興味や能力を発揮できる職業選択。			

(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語技能検定、ビジネス能力検定 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
112 人	21 人	18.8%
(中途退学の主な理由) 学業不振、進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制度、学生相談室と医務室における心身ケアサポート、入学前事前学習の実施、ラーニングアドバイザーの設置およびカウンセリングの実施		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
インターナショナル コミュニケーション科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	その他は施設維持費
グローバルゲートウェイ科 グローバルビジネスコース	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
ビジネス コミュニケーション科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
グローバルゲートウェイ科 海外大学留学コース	100,000 円	1,140,000 円	280,000 円	同上
英語基礎養成科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
海外大学留学科	100,000 円	1,140,000 円	280,000 円	同上
キャリア日本語科	100,000 円	1,040,000 円	280,000 円	同上
グローバル コミュニケーション科	150,000 円	1,170,000 円	250,000 円	同上
英語専攻科	150,000 円	970,000 円	250,000 円	同上
留学科	150,000 円	1,070,000 円	250,000 円	同上
アジア／ヨーロッパ言語科 フランス・スペイン・ 中国・韓国語コース	150,000 円	970,000 円	250,000 円	同上
アジア／ヨーロッパ言語科	150,000 円	1,170,000 円	250,000	同上

インドネシア・タイ語コース			円	
こども英語教師養成科	150,000 円	970,000 円	250,000 円	同上
デジタル コミュニケーション科	150,000 円	970,000 円	250,000 円	同上
国際ビジネスキャリア科	150,000 円	970,000 円	250,000 円	同上
国際観光科	150,000 円	970,000 円	250,000 円	同上
国際ホテル科	150,000 円	970,000 円	250,000 円	同上
国際エアライン科	150,000 円	970,000 円	250,000 円	同上
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
本学規程「学校関係者評価実施要領」に従って実施： 関係者委員会は、評議員、地域住民、教育交流に係る連携機関の関係者、卒業生、学生の出身高等学校関係者、保護者、在学生から、学院長が委嘱する委員により構成する。教職員は、この学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
地域住民	2025.6.25～2026.3.31	地域
卒業生、教育交流に係る連携機関の関係者	2024.4.1～2026.3.31	企業
教育交流に係る連携機関の関係者	2024.4.1～2026.3.31	企業

卒業生保護者	2024.4.1～2026.3.31	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/about/outline.html		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校情報は以下ウェブサイトにて公開： https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/ 学校情報に係る刊行物『入学案内書』一以下サイトから請求して入手可能： https://www.kandagaigo.ac.jp/kifl/ 内の「資料請求」より入手
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄(合計欄を含む。)について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード(13桁)	H113310100036
学校名(〇〇大学等)	専門学校神田外語学院
設置者名(学校法人〇〇学園等)	学校法人佐野学園

1・前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等(内数) ※家計急変による者を除く。		139人(5)人	115人(3)人	144人(5)人
内 訳	第Ⅰ区分	89人	73人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅱ区分	26人	25人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅲ区分	19人	14人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅳ区分(理工農)	人	人	
	第Ⅳ区分(多子世帯)	-	-	
区分外(多子世帯)		-	14人	
家計急変による 支援対象者(年間)				0人()人
合計(年間)				144人(5)人
(備考) 前半期支援区分外139名+後半期(秋採用4名+前半支援区分外→後半期支援区分Ⅲが1名)を年間人数とした				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律(令和元年法律第8号)第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分(理工農)とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2・前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	-	-
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	人	-	-
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲 が著しく低い状況	人	-	12人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	-	-
計	人	人	14人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	-	前半期	-
		後半期	-

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3・前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。) 及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	-	6人

4・適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。) 及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	人	-	-
GPA等が下位4分の1	人	30人	28人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	17人	23人
計	人	32人	39人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
			び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	び料1 給等、 付奨免 学対生 の者及 業数	給1 受の 業の	しし をの 消の	しし をの 消の	しし をの 消の	しし をの 消の	しし をの 消の	しし をの 消の	
			前 半 期	前 半 期	前 半 期	前 半 期	後 半 期	後 半 期	後 半 期	後 半 期	年 間	年 間	年 間	年 間	年 間	年 間	右 以 外 の 大 学 等 ・ 年 間	右 以 外 の 大 学 等 ・ 年 間	右 以 外 の 大 学 等 ・ 年 間	右 以 外 の 大 学 等 ・ 年 間	右 以 外 の 大 学 等 ・ 年 間	
			設置者名	支援対象者（家計急変 による者を除く）	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	支援対象者（家計急変 による者を除く）	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	支援対象者（家計急変 による者を除く）	支援対象者（年間）	家計急変による 支援対象者（年間）	合計（年間）	（備考）	年間	修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	修科目の単位時間数が標準 時間数の5割以下	出席率が5割以下その他学 修意欲が著しく低い状況	「警告」の区分に連続して該 当	計
H 1 1 3 3 1 0 1 0 0 0 3 6	専 門 学 校 神 田 外 語 学 院	学 校 法 人 佐 野 学 園	1 3 9 人 （ 5 ） 人	8 9	-	# R E F !	1 1 5 人 （ 3 ） 人	7 3 人	-	# R E F !	1 4 4 人 （ 5 ） 人	0 人 （ ） 人	1 4 4 人 （ 5 ） 人	前 半 期 支 援 区 分 外 1 3 9 名 + 後 半 期 （ 秋 採	0	人	人	人	人	人	人	

43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56
定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。	定ける。この限りにおいて、その効力の発生を認め、停止を認めた。
た。	右以外の大学等・年間	右以外の大学等・年間	右以外の大学等・年間	右以外の大学等・年間	計	期修業年限2年以下・前半	期修業年限2年以下・前半	期修業年限2年以下・前半	期修業年限2年以下・後半	期修業年限2年以下・後半	期修業年限2年以下・後半	期修業年限2年以下・後半	期修業年限2年以下・後半
(備考)	修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下	GPA等が下位4分の1	出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下	GPA等が下位4分の1	出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	計	修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下	GPA等が下位4分の1	出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	計	(備考)
0	人	人	人	人	-	30	17	32	-	28	23	39	0

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

インターナショナルコミュニケーション科（英語専攻コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	英文法	60					
講義	英語リーディング&ライティング	60					
演習	英語表現演習	60					
演習	英語音声学	60					
講義	ジャパン・スタディーズ	60					
演習	ディベート演習	60					
演習	通訳トレーニング	60					
講義	ビジネス英語演習	60					
講義	Global Englishes	60					
演習	TOEIC SPEAKING & WRITING	60					
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	180					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	120					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	60					
講義	TOEIC Listening	60	○	60	★	60	
講義	TOEIC Reading	60	○	60			
講義	TOEIC L&R	60	○	60			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	MOS対策 (Word/PPT, Excel)	60	○	60	★	60	
講義	短期留学プログラム / 選択科目	210					
総授業時数		1710		300		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科（国内大学編入コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	英文法	60					
講義	英語リーディング&ライティング	60					
演習	英語音声学	60					
講義	ジャパン・スタディーズ	60					
演習	英語ディベート	60					
演習	TOEIC SPEAKING & WRITING	60	○	60			
講義	大学編入対策A	90					
講義	大学編入対策B	90					
演習	アカデミックスキル	30					
講義	外国語学（神田外語大学対策）	240					
講義	英米文学						
講義	言語学・英語学						
講義	国際関係学						
講義	経済学・経営学						
講義	社会学・メディア学						
講義	法学・政治学						
講義	教育学						
講義	コミュニケーション学						
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	60					
講義	TOEIC Listening	60	○	60	★	60	
講義	TOEIC Reading	60	○	60			
講義	TOEIC L&R	60	○	60			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	MOS対策（Word/PPT, Excel）	60	○	60	★	60	
講義	任意選択科目	240					
総授業時数		1950		360		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

※外国語学（神田外語大学対策）～教育学を履修しない場合、任意選択科目として履修

インターナショナルコミュニケーション科（韓国語コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	韓国語文法	60					
講義	韓国語会話	60					
講義	韓国語発音クリニック	60					
講義	韓国語読解トレーニング	90					
講義	韓国語検定講座	90					
演習	韓国語プレゼンテーション	60					
演習	韓国語ディスカッション	60					
講義	韓国語アカデミックライティング	60					
講義	韓国語リーディング&ボキャブラリ	60					
講義	東アジア研究	60					
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120					
講義	TOEIC Listening	60	○	60	★	60	
講義	TOEIC Reading	60	○	60			
講義	TOEIC L&R	60	○	60			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	MOS対策 (Word/PPT, Excel)	60	○	60	★	60	
講義	短期留学プログラム / 選択科目	210					
総授業時数		1710		300		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科（中国語コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	中国語文法	60					
講義	中国語会話	60					
講義	中国語発音クリニック	60					
講義	中国語読解トレーニング	90					
講義	中国語検定講座	90					
演習	中国語プレゼンテーション	60					
演習	中国語ディスカッション	60					
講義	中国語アカデミックライティング	60					
講義	中国語リーディング&ポキャブラリー	60					
講義	東アジア研究	60					
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120					
講義	TOEIC Listening	60	○	60	★	60	
講義	TOEIC Reading	60	○	60			
講義	TOEIC L&R	60	○	60			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	MOS対策 (Word/PPT, Excel)	60	○	60	★	60	
講義	短期留学プログラム / 選択科目	210					
総授業時数		1710		300		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科（スペイン語コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	スペイン語文法	60	○	60			
演習	スペイン語会話	60	○	60			
演習	スペイン語発音クリニック	60	○	60			
講義	スペイン語読解トレーニング	90					
講義	スペイン語検定講座	90					
演習	スペイン語プレゼンテーション	60	○	60			
演習	スペイン語ディスカッション	60	○	60			
講義	スペイン語アカデミックライティング	60					
講義	スペイン語リーディング&ボキャブ	60					
講義	ヨーロッパ研究	60					
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120					
講義	TOEIC Listening	60	○	60	★	60	
講義	TOEIC Reading	60	○	60			
講義	TOEIC L&R	60	○	60			
講義	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	MOS対策 (Word/PPT, Excel)	60	○	60	★	60	
講義	短期留学プログラム / 選択科目	210					
総授業時数		1710		600		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

インターナショナルコミュニケーション科（フランス語コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	フランス語文法	60					
演習	フランス語会話	60	○	60			
演習	フランス語発音クリニック	60	○	60			
講義	フランス語読解トレーニング	90					
講義	フランス語検定講座	90					
演習	フランス語プレゼンテーション	60					
演習	フランス語ディスカッション	60					
講義	フランス語アカデミックライティング	60					
講義	フランス語リーディング&ボキャブ	60					
講義	ヨーロッパ研究	60					
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	150					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	120					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	120					
講義	TOEIC Listening	60	○	60	★	60	
講義	TOEIC Reading	60	○	60			
講義	TOEIC L&R	60	○	60			
講義	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	MOS対策 (Word/PPT, Excel)	60	○	60	★	60	
講義	短期留学プログラム / 選択科目	210					
総授業時数		1710		420		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

グローバルゲートウェイ科（海外大学留学コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	ノートテイキング	120					
講義	リーディング&ボキャブラリー	150					
講義	TOEFL準備講座	285					
講義	キャリアガイダンス/ビジネスプロト	15					
講義	留学オリエンテーション	240					
講義	パブリックコミュニケーション基礎	75					
講義	リーディング&ライティング中級	75					
講義	リングイスティック基礎	75					
講義	カレッジ・ライティング	90					
講義	文学基礎	90					
講義	コンピューター・コンセプト	60					
講義	音楽の基礎と歴史	75					
講義	現代アート	75					
講義	西洋文明	75					
講義	数学基礎	75					
講義	統計学基礎	75					
講義	ミクロ経済学基礎	75					
講義	マクロ経済学基礎	75					
講義	文化地理学基礎	75					
講義	自然災害と地球科学	90					
講義	論理的推論法	75					
講義	アメリカ史（1877以前）	75					
講義	アメリカ史（1877以降）	75					
講義	社会学基礎	75					
講義	米国の人種と民族	75					
講義	生涯設計・人生開発論	75					
講義	（任意選択科目）アメリカ政府と政	75					
講義	（任意選択科目）ライフサイエンス	75					
総授業時数		2565		0		0	
卒業に必要な授業時数		2415					

グローバルゲートウェイ科（グローバルビジネスコース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	English Usage	120					
演習	Business Communication (Written)	120					
演習	Business Communication (Verbal)	120					
講義	Entrepreneurship	120	○	120			
講義	Japanese Communication	60	○	60			
講義	Marketing	120	○	120	★	120	
講義	Management	120	○	120			
講義	Start-Ups	60	○	60			
講義	Economics	60	○	60	★	60	
演習	Accounting	60	○	60			
演習	Engineering	60					
演習	Business Meeting	60	○	60			
演習	Programming	240					
演習	Graduation Project	60	○	60			
講義	Learning Strategies	120	○	120			
講義	選択科目	210					
総授業時数		1710		840		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（ビジネスデザインコース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	EIB	480	○	480			
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120					
演習	バーチャル英語	120					
演習	キャリアデザイン	30	○	30			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型）	30	○	30			
実習	ビジネスインターンシップ	15	○	15			
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	○	60			
演習	ビジネスコミュニケーション	60	○	60			
講義	日本語表現	60	○	60			
講義	IT関連資格対策	120	○	120			
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	○	30	★	30	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	○	30	★	30	
講義	ビジネス業界研究	30	○	30			
講義	財務会計	60	○	60	★	60	
講義	財務分析	30	○	30			
演習	ビジネスリサーチ	30	○	30			
演習	まなごしのデザイン	30	○	30			
演習	マーケティング演習	30	○	30			
講義	選択科目	285					
総授業時数		1710		1185		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（デジタル情報コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	EIB	480	○	480			
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120					
演習	バーチャル英語	120					
演習	キャリアデザイン	30	○	30			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	○	30			
実習	ビジネスインターンシップ	15	○	15			
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	○	60			
演習	ビジネスコミュニケーション	60	○	60			
講義	日本語表現	60	○	60			
講義	IT関連資格対策	120	○	120			
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	○	30	★	30	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	○	30	★	30	
講義	ITビジネス業界研究	30	○	30	★	30	
演習	メディアリテラシー	30	○	30			
講義	デザイン概論	30	○	30	★	30	
講義	先行事例SNS研究	30	○	30			
演習	デジタル表現技法Ⅰ	30	○	30			
演習	デジタル表現技法Ⅱ	30	○	30			
演習	デジタル表現応用Ⅰ	30	○	30			
演習	デジタル表現応用Ⅱ	30	○	30			
講義	選択科目	255					
総授業時数		1710		1215		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（エアラインコース） 昼間部２年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	EIB	480	○	480			
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120					
演習	バーチャル英語	120					
演習	キャリアデザイン	30	○	30			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	○	30			
実習	ビジネスインターンシップ	15	○	15			
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	○	60			
演習	ビジネスコミュニケーション	60	○	60			
講義	日本語表現	60	○	60			
講義	IT関連資格対策	120	○	120			
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	○	30	★	30	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	○	30	★	30	
講義	エアライン業界研究	60	○	60			
演習	イメージコンサルティング	60	○	60	★	60	
講義	時事研究	60					
演習	社会人基礎力Ⅰ	60	○	60			
講義	社会人基礎力Ⅱ	30					
講義	選択科目	225					
総授業時数		1710		1155		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（トラベルコース） 昼間部２年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	EIB	480	○	480			
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120					
演習	バーチャル英語	120					
演習	キャリアデザイン	30	○	30			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	○	30			
実習	ビジネスインターンシップ	15	○	15			
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	○	60			
演習	ビジネスコミュニケーション	60	○	60			
講義	日本語表現	60	○	60			
講義	IT関連資格対策	120	○	120			
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	○	30	★	30	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	○	30	★	30	
演習	旅行業界研究	30	○	30			
講義	世界遺産検定（３級対策）	30	○	30	★	30	
講義	世界遺産検定（２級対策）	30	○	30			
講義	地域観光資源	60	○	60	★	60	
演習	通訳ガイド演習（初級）	30	○	30			
演習	通訳ガイド演習（中級）	30	○	30			
講義	選択科目	285					
総授業時数		1710		1185		210	
卒業に必要な授業時数		1710					

ビジネスコミュニケーション科（ホテルコース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	EIB	480	○	480			
講義	English Usage（TOEIC・英検対策）	120					
演習	バーチャル英語	120					
演習	キャリアデザイン	30	○	30			
演習	企業研究	60	○	60	★	60	
演習	ビジネスリーダーシップ（PBL型授業）	30	○	30			
実習	ビジネスインターンシップ	15	○	15			
演習	ビジネス研究演習ゼミ	60	○	60			
演習	ビジネスコミュニケーション	60	○	60			
講義	日本語表現	60	○	60			
講義	IT関連資格対策	120	○	120			
演習	IT基礎 MOS対策（Word/PPT）	30	○	30	★	30	
演習	IT基礎 MOS対策（Excel）	30	○	30	★	30	
講義	ホテル業界研究	30	○	30	★	30	
演習	ホテリアデザイン	30	○	30			
講義	ホテルビジネスⅠ	30	○	30	★	30	
講義	ホテルビジネスⅡ	30	○	30			
講義	異文化理解	30	○	30			
演習	ユニバーサルホスピタリティ	30	○	30			
講義	選択科目	315					
総授業時数		1710		1155		180	
卒業に必要な授業時数		1710					

英語基礎養成科 昼間部1年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	英文法	300					
講義	英語リーディング&ライティング	60					
講義	英語表現演習	60					
講義	英語音声学	60					
演習	ジャパン・スタディーズ	60					
講義	学習カウンセリング	60					
演習	EIC	60					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	60					
講義	TOEIC Listening	60	○	60	★	60	
講義	TOEIC Reading	60	○	60	★	60	
演習	MOS対策 (Word/PPT, Excel)	60	○	60	★	60	
総授業時数		900				180	
卒業に必要な授業時数		900					

海外大学留学科 昼間部1年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	ノートテイキング	120					
講義	リーディング&ボキャブラリー	120					
講義	TOEFL準備講座	195					
講義	キャリアガイダンス/ビジネスプロト	15					
講義	留学オリエンテーション	90					
講義	パブリックコミュニケーション基礎	75					
講義	カレッジ・ライティング	90					
講義	コンピューター・コンセプト	60					
講義	音楽の基礎と歴史	75					
講義	西洋文明	75					
講義	数学基礎	75					
講義	統計学基礎	75					
講義	ミクロ経済学基礎	75					
講義	文化地理学基礎	75					
講義	自然災害と地球科学	90					
講義	アメリカ史（1877以前）	75					
講義	（任意選択科目）アメリカ政府と政	75					
講義	（任意選択科目）ライフサイエンス	75					
総授業時数		1530				0	
卒業に必要な授業時数		1380					

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

グローバルコミュニケーション科（アントレプレナーシップコース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	Japanese Communication	64	○	64			
講義	Career Design（キャリア・デザイン）	64	○	64			
講義	History & Culture	128					
講義	Accounting（会計）	64					
演習	Debate（ディベート）	64	○	64			
講義	Programing 1	128	○	128			
講義	Global Issue（国際問題）	64	○	64			
講義	International Society	64	○	64			
講義	English Grammar	64					
講義	Reading & Writing	128					
講義	Listening & Speaking	128					
講義	English Usage（英語検定対策）	128					
講義	English Usage S/W （英語検定対策スピーキング&ライティング）	64	○	64			
演習	English Interview（英語面接対策）	64	○	64			
演習	プレゼンテーション概論	64					
演習	学習戦略	160					
演習	卒業制作	112	○	112			
講義	Entrepreneurship（起業）	128	○	128			
演習	Start-Ups（ビジネス構想）	64	○	64			
講義	Economics（経済）	64	○	64	★	64	
講義	Management（マネジメント）	64					
講義	Marketing（マーケティング）	128	○	128	★	128	
講義	Programing 2	128	○	128			
講義		224					
総授業時数		2352		1200		192	
卒業に必要な授業時数		2352					

グローバルコミュニケーション科（国際協力コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	Japanese Communication	64	○	64			
講義	Career Design（キャリア・デザイン）	64	○	64			
講義	History & Culture	128					
講義	Accounting（会計）	64					
演習	Debate（ディベート）	64	○	64			
講義	Programing 1	128	○	128			
講義	Global Issue（国際問題）	128	○	128			
講義	English Grammar	64					
講義	Reading & Writing	128					
講義	Listening & Speaking	128					
講義	English Usage（英語検定対策）	128					
講義	English Usage S/W （英語検定対策スピーキング＆ライティング）	64	○	64			
演習	English Interview（英語面接対策）	64	○	64			
演習	プレゼンテーション概論	64					
演習	学習戦略	160					
演習	卒業制作	112	○	112			
講義	Medical and Risk Management（医療・危機管理）	64	○	64			
講義	International Development Studies（国際開発論）	128	○	128			
講義	Theory of International Cooperation（国際協力論）	128	○	128			
講義	Data Analysis（データ分析）	64					
講義	Area Studies（地域研究）	64	○	64			
講義	Development Method（開発手法）	128	○	128			
講義		224					
総授業時数		2352		1200			
卒業に必要な授業時数		2352					

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

英語専攻科 昼間部 2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	240					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	80					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	80					
講義	TOEIC講座2	64					
講義	キャリア開発1	80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発2	64	○	64			
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	80	○	80	★	80	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	64	○	64			
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
講義	英語リーディング&ライティング	64					
講義	英語表現演習	64					
講義	ディベート演習	64					
演習	ジャパン・スタディーズ	64					
講義	英語資格対策講座	64					
講義	TOEIC SPEAKING	16					
講義	TOEIC WRITING	16					
講義	TOEIC SPEAKING & WRITING ※	64					
講義	*Foundations for English Learners (基礎英語補習)*	48					
講義	/English for the Advanced (上級英語補習)*						
演習	【通訳翻訳専攻】 通訳翻訳演習A	96					
演習	【通訳翻訳専攻】 通訳翻訳演習B	96					
講義	医療事務講座	96	○	96			
演習	【通訳翻訳専攻】 Global Englishes (世界の英語)	64					
	【医療通訳専攻】 医療通訳演習A	224	○	224			
	【医療通訳専攻】 医療通訳演習B	224	○	224			
	【英語キャリア専攻】 ビジネスキャリアデベロップメント演習	96					
	【英語キャリア専攻】 ビジネス英語演習	96					
	【英語キャリア専攻】 Vocational English (仕事の英語)	64					
	【大学編入専攻】 大学編入対策A	96					
	【大学編入専攻】 大学編入対策B	160					
講義	選択科目	48					
	総授業時数	2128		832		160	
	卒業に必要な授業時数	2080					

※医療通訳専攻コースは受講しない。

* 2科目のうち、いずれかを受講する。

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

留学科（海外大学3年次編入コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	ノート・テーキング NTG	104					
講義	リーディング&ボキャブラリー RVD	136					
講義	TOEFL準備講座 TFL	264					
講義	キャリア・ガイダンス	16					
講義	留学オリエンテーション ORT	112					
講義	リーディング&ライティング中級 LING 6	160					
講義	現代アート ART 11	96					
講義	カレッジ・ライティング ENGL 10	128					
講義	西洋文明 HUM 11	80					
講義	アメリカ史（1877年以前） HIST 11	80					
講義	アメリカ史（1877年以降） HIST 12	48					
講義	音楽 MUS 9	80					
講義	パブリックコミュニケーション基礎 COMM 3	80					
講義	リングイスティックス基礎 LING 10	80					
講義	論理的推論法 PHIL 25	80					
講義	米国の人種と民族 SOC50	80					
講義	数学基礎 MATH 45	96					
講義	統計学基礎 STAT 100	48					
講義	ミクロ経済学基礎 ECON 40	40					
講義	マクロ経済学基礎 ECON 50	96					
講義	文化地理学基礎 GEOG 2	80					
講義	コンピュータ基礎 CSCI 5	96					
講義	社会学基礎 SOC 1	96					
講義	文学基礎 ENGL 20	96					
講義	生涯設計・人生開発論 CFS 38	80					
講義	自然災害と地球科学 EES 1	96					
総授業時数		2448					
卒業に必要な授業時数		2448					

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

アジア・ヨーロッパ言語科（フランス語コース／スペイン語コース／中国語コース） 昼間部２年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	240					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	64					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	64					
講義	TOEIC講座2 *任意選択科目						
講義	キャリア開発1	80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発2	64	○	64			
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST	80	○	80	★	80	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST	64	○	64			
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
講義	専攻語文法	144	○	144			
演習	専攻語会話	144	○	144			
講義	専攻語検定講座1	144	○	144			
講義	専攻語上級文法	96	○	96			
演習	専攻語上級会話	128	○	128			
講義	専攻語検定講座2	96	○	96			
講義	選択科目	64					
総授業時数		2080		1040		160	
卒業に必要な授業時数		2080					

アジア・ヨーロッパ言語科（韓国語コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	240					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	64					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	64					
講義	TOEIC講座2 *任意選択科目						
講義	キャリア開発1	80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発2	64	○	64			
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST	80	○	80	★	80	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST	64	○	64			
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
講義	専攻語文法	176					
講義	専攻語作文	32					
演習	専攻語会話	144					
講義	専攻語検定講座1	80					
演習	韓国語プレゼンテーション	16					
講義	【語学専攻】 専攻語上級文法	96					
演習	【語学専攻】 専攻語上級会話	128					
講義	【語学専攻】 専攻語検定講座2	96					
講義	【韓国大学編入専攻】 専攻語小論文	64					
講義	【韓国大学編入専攻】 専攻語応用文法	64					
演習	【韓国大学編入専攻】 専攻語プレゼンテーション	64					
演習	【韓国大学編入専攻】 専攻語ディスカッション	32					
講義	【韓国大学編入専攻】 専攻語検定講	96					
講義	選択科目	64					
総授業時数		2080		288		160	
卒業に必要な授業時数		2080					

アジア・ヨーロッパ言語科（インドネシア語コース／ベトナム語コース／タイ語コース） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	192					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	64					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	96					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	64					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	64					
講義	TOEIC講座2	32					
講義	キャリア開発	64	○	64	★	64	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	96	○	96	★	96	
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
講義	専攻語読解	96					
講義	専攻語作文	96					
講義	専攻語発音・会話	64					
講義	専攻語上級会話	32					
講義	専攻語Listening	64					
講義	Language for Business	32					
講義	東南アジア文化・企業研究	96	○	96	★	96	
講義	専攻語検定講座	192					
実習	文化・語学実地研修	544					
講義	選択科目	32					
総授業時数		2208		256		256	
卒業に必要な授業時数		2208					

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

こども英語教師養成科（児童英語教育科） 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	240					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	80					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	80					
講義	TOEIC講座2	64					
講義	キャリア開発1	80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発2	64	○	64			
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	80	○	80	★	80	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	64	○	64			
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
講義	発音クリニック	64	○	64			
講義	English Usage	32	○	32			
講義	コミュニケーションスキル	32	○	32			
講義	初等教育総論	64	○	64			
講義	児童英語指導法A	64	○	64			
講義	児童英語指導法B	64	○	64			
講義	Teaching Basics	16	○	16			
演習	児童英語指導演習	16					
講義	教職入門	16	○	16			
実習	インターンシップ	64					
講義	初等英語教育概論	32	○	32			
演習	教育演習	32					
講義	Storytelling&Music	64	○	64			
講義	子どもの発達と学習	64					
講義	Effective Teaching Skills	64	○	64			
講義	選択科目	32					
総授業時数		2080		800		160	
卒業に必要な授業時数		2080					

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

デジタルコミュニケーション科 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
講義	ITパスポート試験対策1	96	○	96	★	96	
講義	ITパスポート試験対策2	48	○	48			
講義	メディアリテラシー	32	○	32			
講義	デザイン概論	32					
講義	ダイバーシティ・コミュニケーション	16					
講義	学習戦略1 I	32					
講義	学習戦略1 II	48					
講義	学習戦略2	64					
講義	先端事例から学ぶSNS研究	32					
演習	メディアデザイン	64					
演習	表現技法	64					
演習	情報デザイン	80	○	80			
演習	サイバーセキュリティ基礎	32					
演習	表現応用（広告作成実践）	192					
演習	データアナリティクス演習	160					
演習	DX・ビジネスデザイントレーニング	96					
演習	Business Software Training	80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発	144	○	144			
演習	デジタルコミュニケーション英語	240					
講義	技術英語	64					
講義	TOEIC講座1A	80					
講義	TOEIC講座1B	80					
講義	TOEIC講座2	64					
講義	選択科目	336					
総授業時数		2176		480		176	
卒業に必要な授業時数		1840					

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

国際ビジネスキャリア科 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	240					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	80					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	80					
講義	TOEIC講座2	64					
講義	キャリア開発1	80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発2	64	○	64			
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	80	○	80	★	80	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	64	○	64			
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
講義	ビジネス英語入門	64	○	64			
講義	English for Business Career	64					
講義	財務会計	128	○	128			
講義	財務分析	16	○	16			
講義	中国文化コミュニケーション講座	64					
講義	ビジネスリーダーシップ	80	○	80			
講義	企業研究	80	○	80			
講義	ビジネスリサーチ	64	○	64			
講義	企業英語	64					
演習	ビジネス研究演習(ゼミ)	64	○	64			
講義	選択科目	32					
	総授業時数	2080		784		160	
	卒業に必要な授業時数	2080					

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

国際観光科 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	240					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	80					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	※ 80					
講義	TOEIC講座2	64					
講義	キャリア開発1	※ 80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発2	64	○	64			
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	80	○	80	★	80	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	64	○	64			
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
講義	旅行業法	32	○	32			
講義	旅行業約款	32	○	32			
講義	国内旅行実務	32	○	32			
講義	国内観光資源	32	○	32			
実習	ツアーコンダクター実務	64	○	64			
講義	海外旅行実務 (アウトバウンド・ツーリズム)	32	○	32			
講義	海外観光資源	32	○	32			
講義	社会人基礎力養成講座	32	○	32			
講義	日本と世界の事象	64	○	64			
演習	通訳ガイド実務 (インバウンド・ツーリズム)	64	○	64			
演習	通訳ガイド英語	64	○	64			
講義	中国語トラベル会話／韓国語トラベル会話	64					
演習	業界・企業研究	48	○	48			
実習	ツアープランニング	96	○	96			
実習	現地ガイド実習 (ブルネイ)	192	○	192			
講義	選択科目	32					
総授業時数		2080		1104		160	
卒業に必要な授業時数		2080					

※1年次3学期は、科目履修または現地ガイド実習 (ブルネイ) を選択

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

国際ホテル科 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	240					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	80					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	80					
講義	TOEIC講座2	64					
講義	キャリア開発1	80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発2	64	○	64			
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	80	○	80	★	80	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST)	64	○	64			
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
演習	ホテル英会話	80	○	80			
講義	ホテルビジネス	64	○	64			
実習	料飲オペレーション	64	○	64			
演習	ビジネスコミュニケーション	64	○	64			
講義	社会時事と一般常識	16	○	16			
演習	ホテリアデザイン	48	○	48			
演習	宿泊実務	32	○	32			
実習	ユニバーサルホスピタリティ	32	○	32			
講義	ブライダル概論	64	○	64			
講義	異文化理解とマナープロトコール	64	○	64			
演習	ホスピタリティ演習	32	○	32			
演習	ホテルマーケティング	64	○	64			
演習	中国語会話／韓国語会話 ※言語を選択	64					
実習	ホテル実務研修 ※	48					
講義	選択科目	32					
総授業時数		2080		912		160	
卒業に必要な授業時数		2080					

※1年次3学期は「ホテル英会話」「社会時事と一般常識」「ホテリアデザイン」か「ホテル実務研修」のいずれかを選択受講。

【国及び都が定める添付資料①】

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

国際エアライン科 昼間部2年制

科目 区分	授業 科目名	授業 時間数	うち実務教員 による授業	授業 時間数	うち シラバス添付	授業 時間数	備考
演習	国際コミュニケーション英語 (C.S)	240					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.F)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (E.P)	128					
演習	国際コミュニケーション英語 (I.O)	160					
演習	国際コミュニケーション英語 (Project Change)	32					
演習	Hybrid English Learning Program (HELP)	64					
講義	TOEIC講座1A (Reading)	80					
講義	TOEIC講座1B (Listening)	80					
講義	TOEIC講座2	64					
講義	キャリア開発1	80	○	80	★	80	
講義	キャリア開発2	64	○	64			
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST	80	○	80	★	80	
演習	ビジネスソフトトレーニング (BST	64	○	64			
講義	英語基礎演習 (英文法)	64					
講義	イメージコンサルティング1	80	○	80			
講義	社会人基礎力 養成講座	80	○	80			
講義	時事研究	80	○	80			
講義	美しい日本語講座	80	○	80			
講義	企業研究	80	○	80			
講義	イメージコンサルティング2	64	○	64			
講義	社会人基礎力 養成講座2	64	○	64			
講義	英語面接・接遇英語	32					
講義	TOEIC SPEAKING	64					
講義	接客中国語／接客韓国語 ※言語を選択	64					
講義	選択科目	32					
	総授業時数	2080		816		160	
	卒業に必要な授業時数	2080					